

令和2年10月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時 令和2年10月28日(水) 午後1時30分

場 所 市庁本館3階 議会第2委員会室

出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	大庭	文武
	教育委員	築瀬	眞知雄
	教育委員	油川	育子
	教育委員	小瀬川	喜井

事務局出席職員	教育部長	石亀	純悦
	教育部次長兼教育総務課長	橋本	淳一
	教育部次長	中村	雅臣
	学校教育課長	大館	秀光
	教育指導課長	南館	義孝
	社会教育課長	館合	裕之
	是川縄文館副館長	松橋	広美
	総合教育センター所長	竹花	和人
	こども支援センター所長	大坂	吉弘
	図書館長	田茂	隆一
	博物館長	小保内	裕之
	教育総務課参事	尾崎	紀子
	西地区給食センター所長	梶山	優
	是川縄文館参事	渡	則子

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和2年10月教育委員会定例会を開会します。

まず、このたび、10月1日付けで小瀬川委員さんが新しく教育委員に任命され、本日が最初の定例会となりますので、小瀬川委員から一言御挨拶をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

(小瀬川委員 挨拶)

本日の議事録署名は、小瀬川委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議いたします。

はじめに、議案第36号「八戸市立小学校及び中学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について」事務局からの説明をお願いします。

議案第36号 八戸市立小学校及び中学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について

(大館学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見・御質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第36号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

御異議がありませんので、議案第36号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第37号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について」事務局からの説明をお願いします。

議案第37号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

(橋本次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見・御質問などがありましたらお願いいたします。

(大庭委員)

学識経験者からの総評にもありますけれども、私も報告書に記載されている実施内容や評価の説明が、より具体的で簡潔な表現となり、大変分かりやすい報告書になったと感じていますし、全ての評価が「想定以上」、あるいは「概ね想定どおり」であったことに対して、大変心強く、嬉しく思います。それぞれの担当課において、真摯に、着実に取り組んだ結果であろうと思い、教育委員会職員の皆様に感謝を申し上げます。今年度は、コロナウイルス感染拡大防止のために中止となった事業等もありますので、来年度評価するに当たっては、従来どおりとはいかないかと思えます。コロナ禍の状況を配慮しながらの評価になるかと思いますが、まずは今年度の残りの期間においても、着実に教育活動に取り組んでいただければと思います。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほか何かありませんか。

(築瀬委員)

学識経験者からの総評を読ませていただき、私が印象に残ったところについて感想を申し上げたいと思います。

評価報告書の45ページからになりますが、3名の方の総評が掲載されております。上條秀信さんは「特別支援教育の充実」ということを取り上げておられました。その中でも「いかなる状況にあっても、子どもたち一人一人、市民一人一人を大事にするという一貫した姿勢が強く感じ取られ、八戸市教育委員会の基本精神を見る思いがする。」という言葉をいただけたことが、特に印象に残っております。私も同じような思いを持ち、様々な活動をさせていただいたり、このような会議に出させていただいたりしていますが、当たり前のことなのですけれども、学校教育においては子どもが一番であります。教育を取り巻く環境については、様々な事情によって影響されることもあるかと思いますが、八戸市教育委員会においては、子どもたちの幸せを一番に考えておりますので、今後ともそのような教育行政を展開していただきたいと思いました。

前田稔さんは「読書教育の推進、特別支援教育の充実、地域密着型教育」について取り上げておられます。特に印象的だったのが「八戸市は全国に誇れる教育活動がなされ、常に改善を目指し、健全な教育活動がなされている。」と述べているところです。このことについては、私も同感であります。「全国に誇れる」とありますけれども、もっと端的に言うと、全国的な風潮に流されない独自の取組であるということでしょうか。新しい取組を行うにしても、周りがやっているからやるのではなく、地域に根ざした八戸の教育であるという考え方が感じられ、私も前田委員と同じように感じております。今後とも、そういった姿勢を崩さずに取り組んでほしいと思っています。

平間恵美さんは「令和になり、さらに社会の動きは早くなっており、新しい取組が必要」である旨を述べておられます。さらに「郷土を愛し、郷土とともに生きる教育を土台に」ということもおっしゃっており、ここが重要なところでもあります。新しい取組はもちろん必要だと思いますけれども、目先のことに捕らわれ過ぎずに、これまで大事にしてきたもの、根底にあるものをじっくりと土台にして進めてほしいという総評であり、私も同様に考えております。今後もこういった点を持続、強化していくことが大切だと思います。

最後になりますけれども、こども支援センターにおいては、市内の他分野との情報の共有や連携の推進が特に重要であります。子どもたちの更なる幸せのために、今後も取り組んでほしいと思います。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。感想を頂戴しました。そのほかございませんか。

[質疑なし]

それでは、議案第37号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

御異議がありませんので、議案第37号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。はじめに「令和2年度第2四半期の業務報告について」は、事前に質問をいただいております。

【令和2年度第2四半期の業務報告について】

(伊藤教育長)

まずは6ページの「学校図書館支援事業」について、油川委員からお願いいたします。

(油川委員)

6ページの「学校図書館支援事業」の中で研修会を行っておりますが、その具体的な研修内容についてお聞きしたいと思います。

(南館教育指導課長)

油川委員の質問にお答え申し上げます。この「学校図書館支援事業」は、指定した派遣校に対して学校司書を派遣する事業であります。今年度は6名の学校司書を小学校25校、中学校5校の合計30校に派遣しております。学校司書の研修会は、原則として毎月1回開催しており、八戸ブックセンター、市立図書館を開催場所として、今年度はこれまでに6回開催いたしました。

研修内容といたしましては、学校司書相互の情報交換及び情報共有をします。情報交換としては、それぞれの担当校における業務内容や工夫した取組等について話し合いを行っておりますが、具体的には本に添付するバーコードラベルの簡単な作成方法だったり、図書ボランティアと連携した学校図書館の装飾づく

りなどの情報共有を行い、各自の業務に生かすようにしております。

また、八戸ブックセンターで研修を行う際は、八戸ブックセンター企画運営専門員の森 花子氏にも同席していただき、本を選ぶプロの立場から児童生徒向けの絵本や、書籍に関する最新の情報を提供していただいております。市立図書館で研修を行う際は、図書館職員にも同席していただき、書籍に関する情報提供に加えて、書籍の修理の仕方、学校図書館業務全般についての助言を共有しております。

今後も学校司書研修会を通して、学校司書、ブックセンター、市立図書館との連携を図りながら、各小・中学校の図書館の更なる充実、そして本に親しむ子どもの育成に努めてまいります。以上で説明を終わります。

(油川委員)

ありがとうございました。学校訪問の際にも各学校の図書室を拝見させていただいておりますけれども、皆様の御努力を大変実感しております。一言だけ意見を述べさせていただきたいと思います。

これからの学校図書館は、主体的・対話的で深い学びというものを実現させるために、図書センターとしての機能のみならず、教育課程を実施していく上で、学習センターや情報センターという機能も併せ持つことが期待されております。児童・生徒の皆さんの学びを深めるための資料の収集ですとか、先生方の授業づくりのための教材準備を支えるという役割もあろうかと思っておりますので、それらのことにも注視いただきながら、さらに研修を深めていただけたらと思います。

(伊藤教育長)

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

それでは次に入ります。10ページ「是川遺跡発掘100周年記念企画展 泉山兄弟と是川遺跡」について、小瀬川委員からお願いします。

(小瀬川委員)

7月から9月にかけて開催されました「是川遺跡発掘 100 周年記念企画展」について、一言申し上げます。この企画展を拝見させていただきましたが、是川遺跡の基本に立ち返るような、素晴らしい企画展であったと感じております。しかしながら、新型コロナウイルスの影響もあり、昨年度と比べ、今年は来館者が大きく減少してしまいましたので、多くの方に観覧いただくことができませんでした。

先日図書館において、この企画展を資料としてまとめた「図録」を拝見しましたが、カラーの写真も多く収められており、大変分かりやすくまとめられているものでございました。今後、世界遺産登録に向けて、郷土の遺跡について理解を深める際には、非常に役立つ資料であると感じましたので、この図録を学校や各団体で活用されるといった予定について、御質問いたします。

(松橋是川縄文館副館長)

本来であれば、今年度の夏季企画展は、北陸の縄文晩期を題材にした特別展として開催する予定でありました。しかし、新型コロナウイルスの影響を受けて、他の施設からの展示品の貸し借りが難しかったた

め、当館の収蔵品を活用し、夏季企画展に変更し開催したものでございます。

図録につきましては、夏と秋の企画展示の際に毎回500部作成しております。そのうち100部は、館内のミュージアムショップで販売しているほか、企画展示の関係機関、国立図書館、県立図書館、市立図書館、さらに当館にゆかりのある他都市の埋蔵文化財センターや博物館、大学など約200か所に対して配布しております。図録は、企画展示の解説図書として、また集めた資料のカタログといった役割があり、他館の参考資料ともなっておりますので、関係機関へと配布させていただいております。また、企画展を担当した学芸員の研究や教育普及の活動記録という役割のほか、ミュージアムショップでの販売を通して企画展をもう一度体験したり、展示品を思い出したりといった、資料に触れた感動を持ち帰るという役割もあるかと思えます。当館の図書コーナーでは、いつでも自由に閲覧していただくことは可能となっておりますが、今年に関しては、新型コロナウイルスの関係で図書コーナーを休止していたしましたので、再開した際には、これまで作成した図録17冊を御覧いただけるかなと思っております。

学校での活用方法についてですが、現在は図録の学校への設置、配布は行っておりません。今回はかなり分かりやすい、優しい言葉遣いで作っておりますが、普段は主に高校生以上を対象とした内容でまとめておりますので、小・中学生には少し難しく感じられるのかなと感じております。学校から図録を活用した授業を行いたい旨の申し出があれば、貸し出しすることは可能ですので、その場合は対応してまいりたいと思います。また、今後の取組としては、小学校の新3年生向けに北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産についての副読本の作成を検討しております。以上です。

(伊藤教育長)

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

以上、事前の質問は2点でありましたけれども、そのほかでも結構です。委員の皆さんから質問などありますでしょうか。

(大庭委員)

3ページ「八戸市奨学金」についてです。昨年度もそうでしたけれども、表を見ますと、一般貸与については、募集者数よりも応募者数が少ない状況になっています。これは、大学生を見てもそうなのですが、このコロナ禍の中で奨学金を借りた場合、生徒や学生が学校を卒業後に本当に返せるのか、という不安があるのではないかと考えています。このような社会変化が起こると、家庭の経済的な状況の悪化、あるいは本人がアルバイト等で返済できない、簡単に言えば、借金として抱えてしまうということを懸念し、安易に貸与型の奨学金に申し込めない状況であることも聞いております。八戸市においても、それぞれの状況に応じながら対応いただいておりますが、給付型となる第2種特別奨学金については、募集者数を越えて申し込みがあり、さらに当初の募集者数よりも多く採用しております。事務局においては、いろいろと考慮された上で、このような数字になっていると思いますが、一般貸与だけではなく、給付型も厚く対応されておりますことに大変ありがたく思っています。

今後は給付型奨学金を求める家計が苦しい、進学を悩んでいる子どもたちが増えてくるものと思います。予算もあるとは思いますが、子どもたちの事情を考慮し、可能な限り、給付型奨学金を対応していただ

ればありがたいと思います。

(大館学校教育課長)

ありがとうございました。やはり応募の状況を見ますと、給付型奨学金への応募が断然多いということが、ここ数年続いております。財源となります基金の残額を見ながら、給付型奨学金の採用枠を増やせるよう調整しておりますが、今後も状況に合わせて適切に対応していきたいと思っております。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから御質問などございますでしょうか。

(油川委員)

8ページ「幼稚園家庭教育学級事業」につきましては、コロナ禍においても中止措置はとらずに、弾力的な措置を講じてくださり、大変ありがとうございました。各幼稚園においては、感染防止を考慮した上で、保護者の皆さんに対して子育てにおける学習の機会を提供することができたと思っております。

教育基本法の中には「保護者は、子の教育について第一義的責任を有するもの」そして、「地方公共団体は、保護者に対する学習の機会及び情報提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずる」といったことが明示されておりますが、本事業を実施により、このことが実現につながっておりますことをこの場をお借りいたしまして、心より感謝を申し上げます。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから御質問などございますでしょうか。

[質疑なし]

それでは次に入ります。「令和2年度第3四半期の主な事業予定について」も、委員の皆さんから事前に質問をいただいております。

【令和2年度第3四半期の主な事業予定について】

(伊藤教育長)

2ページの「就学事務」について、小瀬川委員からお願いいたします。

(小瀬川委員)

学校教育課においては、来年度の新小学校1年生のための事業が見られ始めており、大変嬉しく温かい気持ちを感じました。今年度の学校は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校行事や地域活動など、いろいろなものが中止、延期、もしくは規模を縮小して行われてまいりました。例年であれば、地域の学校では文化祭等が開催されますので、新小学校1年生や保護者の方は地域の小学校の様子や見たり、体験することができたのですが、今年はそういったことが全くかなわず、学校と地域とのつながりも非常に希薄な1年であると感じております。

今回の健康診断は、保護者や就学児童が、実際に学校の中に足を踏み入れ、学校の雰囲気に触れること

のできる大切な機会であります。例年どおりであれば、お手伝いしている6年生や先生方と顔を会わすことができるかと思うのですが、現在、県内でのコロナウイルス感染の状況により、県内の地域によっては休校中の学校もございます。市内小学校の対応がどのような形になるか分かりませんが、より一層のコロナウイルス感染予防に努められ、予定どおり実施できればなと思っております。

(大館学校教育課長)

御意見ありがとうございました。今年度は、1学期中に行う通常健康診断も実施できず、2学期に移動して行っておりました。就学時健康診断については、既に10校程度の学校で実施済みとなっております。各学校では、感染防止対策を十分に徹底した上で実施しておりますけれども、11月19日までの期間中、無事に実施できればいいなと思っております。

(伊藤教育長)

関連質問ございませんか。

〔質疑なし〕

事前の御質問が1点だけでした。そのほかで結構ですので、委員の皆さんから質問などありますでしょうか。

〔質疑なし〕

次に、「自動車破損事故報告及び損害賠償額の決定について」事務局からの説明をお願いします。

【自動車破損事故報告及び損害賠償額の決定について】

(橋本次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見・御質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

次に「令和3年八戸市成人式について」、「八戸工業大学第二高等学校との八戸地方えんぶり共同調査について」、「第43回民俗芸能の夕べの開催中止について」はどちらも社会教育課からの報告案件となりますので、併せて事務局からの説明をお願いします。

【令和3年八戸市成人式について】

【八戸工業大学第二高等学校との八戸地方えんぶり共同調査について】

【第43回民俗芸能の夕べの開催中止について】

(館合社会教育課長 資料に基づき説明)

(伊教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見・御質問などがありましたらお願いします。

(大庭委員)

成人式について質問させていただきます。例年、式典が終わった後に、1階のフロアに中学校ごとに集まって、非常に和気あいあいとした雰囲気の中で先生や新成人たちが歓談する時間があり、大変良い企画であると思っています。しかし、コロナウイルス感染予防を踏まえると、あの中学校ごとの集いは、今の時点ではどのように考えているのでしょうか。

(館合社会教育課長)

中学校ごとに集まる時間は「ふれあいタイム」と申しますけれども、現時点では、実施しない方向で考えております。ただ、例えば屋外ですとか、何かしら考えられないものかと検討している最中でございます。

(大庭委員)

分かりました。その場が密になるのであれば、実施は難しいのかなと思います。新成人の中には、住所を市外に移されている方もいると思いますが、やはり地元の成人式が楽しみで、わざわざ帰ってくる成人もいます。大変いいと思う企画なのですが、一方ではちょっと心配ではあるなど。まだ決定ということではないようですけれども、コロナウイルス感染拡大という点では心配しておりましたので、実施するのであれば、より配慮しながらの実施が必要かなと思います。また、市外に住所登録がある新成人が参加することも想定されますので、説明資料にも記載されていますが、担当者にはいろいろと手数をかけることになるのですが、参加者の把握ということは、しっかりとやっていただきたいと思います。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから御質問などございますでしょうか。

(築瀬委員)

私も同じように成人式についてです。私もサーマルカメラの準備方法、主催者側の出席者などを質問したいと思っていましたけれども、先ほどの館合課長の説明で、私が聞きたいと思っていた内容も説明がありましたので、大変良かったと思っています。まだ具体的に決まっていないことや、これからの新成人の方との話合いで決まっていくことがあると思いますが、できる限り、この新成人の方々が夢と希望を持てるような、そういった機会にできるような姿勢で臨んでいただければありがたいなと思っています。

これまでの成人式では、教育指導課青少年グループの指導主事を中心に、新成人の心に訴えるような呼びかけを行ってきており、その中で新成人の立派な態度での成人式が行われてきているという点も、やはり伝統として受け継がれていってほしいと思っています。

これからの状況によっては、様々な対応が必要になりますので御苦勞が多いと思いますけれども、新成人のために努力していただければありがたいと思います。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから御質問などございますでしょうか。

[質疑なし]

次に「是川遺跡クリーンデーについて」事務局からの説明をお願いします。

【是川遺跡クリーンデーについて】

(松橋是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見・御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

次に「第10回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール受賞作品決定について」事務局からの説明をお願いします。

【第10回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール受賞作品決定について】

(田茂図書館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見・御質問などがありましたらお願いします。

(小瀬川委員)

個人的にも、このコンクールに関しては着目しておりました。昨年は中学生の応募がなかったようですが、今年は2点ではありますが応募がありました。中学生になると、どうしても部活動や勉強面等で日々忙しく、なかなかまとまった時間が取れない状況も多いかと思います。インターネットで調べる作業は、すぐにピンポイントで答えを検索できる直接的な学びであると思うのですが、このような図書館を使った学習は、図書館で本を選んだり、探したり、結論を導き出すために考えたりと、その過程は親としても本当に養ってほしい根気のいる作業だと思います。

今回の小学生の部のタイトルを見ても、皆さんいろいろなテーマで取り組んでいらっしゃる、郷土に関するものも見られましたし、子どもたちの問題の発見力、解決力につながるものも多いと感じています。八戸市は「本のまち」でありますので、中学生にも積極的な挑戦をしてほしいと思っております。先ほどの油川委員のお話にもありましたが、学校図書館は、図書の貸出しだけでなく、授業を支える役割も期待されておりますけれども、学校図書館の蔵書の中だけでは、調べ学習をする際の資料がなかなか揃っていない等の話も聞くことがありますし、中学生自身も調べ学習をすることに慣れていないような印象を持っております。来年度はさらに応募が増えることを期待しております。

(田茂図書館長)

小学生のときから調べ学習に応募されている生徒であれば、中学校に行っても、引き続きやられる方がいらっしゃるのですが、中学生になってから初めて応募される方は、なかなか少ない状況であります。図書館では、夏休み期間中を利用した「夏休み調べ学習相談会」というものを7月28日、30日、8月2日の3日間、開催いたしました。その際には中学生も来られていたのですが、今回は応募をしなかったようです。こちらの取組については、さらに周知をいたしまして、中学生の方も応募が増えていくように努めてまいりたいと考えております。

(伊藤教育長)

そのほか御質問などございませんか。

〔質疑なし〕

そのほか、事務局からの報告事項はありますか。

〔なし〕

事務局からは以上のようなようです。

最後に、「その他」ですが、委員の皆様方から何かありますでしょうか。

(油川委員)

私からは、今月25日の新聞記事に掲載されておりました修学旅行について、感想を述べさせていただきたいと思います。教育委員会からのコメントも掲載されており、「各校が子どものことを最優先し、保護者の理解を得られるよう検討を重ねています。」とありました。修学旅行の中止や内容を変更しての修学旅行の実施は、どの学校においても子どもの健康と学びの経験を最優先した中での結論であったと思います。修学旅行で得られるべき経験をできなかったということは、大変残念なことではあったかと思いますが、その代償としまして、子どもたちはどんなときでもお互いに尊重し合うことの大切さ、周囲の大人の姿勢からも困難の乗り越え方を学んだり、それ以上の貴重な経験を学んだのではないかと思います。市内小・中学校の判断はそれぞれですが、どの学校におきましても、子どもたちへの深い愛情から来る結論であったことと思いますので、全ての結果に自負を持ち、今年度残された5か月間を健康に御留意いただきながら励んでいただきたいと思います。

(伊藤教育長)

そのほかございませんか。

ただいま油川委員からお話がありました修学旅行ですが、たまたま別件で最新の資料を目にしておりました。市内小・中学校は66校ありますが、2校で中止しております。また、修学旅行を隔年実施している小学校1校では、今年度の修学旅行はありませんでした。今日現在で63校中43校が修学旅行を実施しております。さらに、今日も含めて、修学旅行中の学校は小学校が4校、中学校1校となっております、全部で5校となっております。少し小学校の行先を紹介しますと、函館2校、岩手1校、県内1校となつていま

す。通常は2泊3日の日程なのですが、1泊2日に短縮している学校も1校あります。中学校1校は、県内の白神山地や奥入瀬溪流に2泊3日で行っております。中学校は、本来は3泊4日での行程なのですが、こちらも短縮しての実施となります。

これから実施予定の学校は残り15校で、小学校11校、中学校4校という状況です。こういうコロナ禍の中ですけれども、各学校では子どもたちのことを中心に考えて、何とか行かせられるようにいろいろな工夫をされており、中学校では日帰りで行っている学校もあるのです。先日、ニュースを見ておりましたら、青森市の中学校で、むつ市に日帰りで行った学校がありました。その際に、むつ市長が自ら出迎え、激励をしたということがありました。中学校3年生の生徒も「僕の人生の中で一番今日が充実していました」とコメントしており、子どもにとっては必ずしも東京への修学旅行だけが全てではないと感じました。

どこに行っても感染防止が第一になりますが、修学旅行は集団で行くということが一番の思い出になりますので、可能であれば1日でも2日でも行かせることができればと思っております。やがては東京に行く機会もあるでしょうけれども、今の仲間と一緒に行くということは、一生に1回きりです。そういうことを踏まえ、各校が腐心され、御家庭のお父さん、お母さん方も随分悩まれた上で学校に賛同し、許可してくれたのだと思いますけれども、大変な時期の修学旅行だったと思っております。まだ見通せないところもありますので、もう少し見守っていきたいと考えております。

そのほか委員の皆さんございませんか。

〔質疑なし〕

閉 会

(伊藤教育長)

これもちまして令和2年10月の教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時51分閉会)